

令和 8 年度 水道実施設計書

審査 設計者

工事番号
(設計書コード) 38-FE350-06-01-02

建設工事名 令和8年度 岡部町新舟地内配水本管布設替工事

路線河川名 建設工事箇所 藤枝市 岡部町新舟 地内

建設工事金額

工 期 令和 9 年 1 月 2 9 日限り 週休2日推進工事補正 (週単位(完全週休2日))

建設工事概要	施工延長	92.8	m
	HPE径150	80.9	m
	HPE径75	11	m
	仕切弁径150	1	基
	仕切弁径75	1	基
	ドレン工	2	箇所

歩掛・単価適用年度 令和 8 年 8 月 基本単価 令和 8 年 8 月 地区コード 220 地区

起 終 点 指 定 ⇔

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である

位置図

S=1/10,000

建設工事施工場所

令和8年度 岡部町新舟地内配水本管布設替工事

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 補助					
- - 管材	式	1			
- - - HPEφ150	式	1			
- - - - 配水ポリエチレン管 EF片受直管 φ150	本	12			
- - - - 配水ポリエチレン管 直管 JWWA K144 φ150	本	3			
- - - - 配水P用 EF片受チーズ (片受片挿) φ150×φ75	個	2			
- - - - 配水P用 EFベンド (両受) φ150×45°	個	2			
- - - - 配水P用 EF片受ベンド (片受片挿) φ150×45°	個	2			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 配水P用 EF片受Sベンド (片受片挿) φ150×450H	個	2			
--- HPEφ75	式	1			
---- 配水ポリエチレン管 EF片受直管 φ 75	本	1			
---- 配水ポリエチレン管 直管 JWWA K144 φ 75	本	1			
---- 配水P用 EF異径チーズ (両受) φ 75×φ 50	個	1			
---- 配水P用 EFベンド (両受) φ 75×45°	個	3			
---- 配水P用 EFベンド (両受) φ 75×22° 1/2	個	1			
---- 配水P用 EF片受ベンド (片受片挿) φ 75×45°	個	1			
---- 配水P用 EF片受Sベンド (片受片挿) φ 75×450H	個	2			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 仕切弁φ75					
	式	1			
---- 配水P用 PEソフトシール仕切弁 鋳鉄製 (両挿) φ 75					
	基	1			
---- 仕切弁筐 (テーパー蓋・受枠三点固定式) CVONS-20G-25LNU 鋳物中蓋タイプ・小型床版、塩ビ台座、VP管含む					
	基	1			
-- 配管工					
	式	1			
--- HPEφ150					
	式	1			
---- ポリエチレン管 (融着接合) 布設工 φ150mm 人力					M0001
	m	80.9			水道事業実務必携 P84 第 1号表
---- ポリエチレン管 (融着接合) 継手工 (1箇所) φ150mm					M0002
	箇所	2			水道事業実務必携 P84 第 2号表
---- ポリエチレン管 (融着接合) 継手工 (1口) φ150mm					M0003
	口	18			水道事業実務必携 P84 第 3号表
--- HPEφ75					
	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- ポリエチレン管（融着接合）布設工 φ75mm 人力	m	11			M0039 水道事業実務必携 P84 第 4号表
---- ポリエチレン管（融着接合）継手工（1箇所） φ100mm	箇所	5			M0033 水道事業実務必携 P84 第 5号表
---- ポリエチレン管（融着接合）継手工（1口） φ75mm	口	4			M0043 水道事業実務必携 P84 第 6号表
---- ポリエチレン管切断工 φ75mm	口	5			M0060 水道事業実務必携 P95 第 8号表
--- 仕切弁設置工	式	1			
---- 仕切弁設置工 φ100mm以下 機械 鋳鉄製仕切弁 縦型	基	1			M0037 水道事業実務必携 P96 第 9号表
---- 仕切弁筐設置工	箇所	1			M0010 第 10号表
--- 管表示・被膜工	式	1			
---- ナイロンスリーブ被覆工φ150（材・工） 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	80.9			M0017 水道事業実務必携 P85 第 14号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- ナイロンスリーブ被覆工φ75 (材・工) 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	11			M0059 水道事業実務必携 P85 第 15号表
---- ロケーティングワイヤー設置工(材・工)	m	91.9			M0018 水道事業実務必携 P85 第 16号表
---- 埋設標識シート設置工(材・工)	m	91.8			M0019 水道事業実務必携 P64 第 17号表
-- 土工	式	1			
--- 管路土工	式	1			
---- 舗装版切断	m	190			SP 1号表
---- 舗装版取壊し積込 (バックホウ) 0cmを超え10cm以下 バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	m ²	55			第 19号表
---- アスファルト設置搬処分 共同企業体 静岡つばさアスコン リサイクル工場	m ³	3			M0020 第 20号表
---- バックホウ掘削積込 (土砂) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	m ³	60			第 22号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- ダンプトラック運搬・4 t 積（管路掘削工事）仮置き場まで バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ） DID区間無し、L=0.3km、土砂	m ³	60			第 23号表
---- 土砂運搬処分 仮置き場から処分場 株式会社 鈴木土建 第三残土処分場	m ³	60			M0021 第 24号表
---- 砂基礎工（機械施工）	m ³	20			M0022 第 26号表
---- 管路埋戻工（機械埋戻・バックホウ） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ） 路体材 再生盛土材	m ³	40			第 27号表
---- アルミ矢板建込・引抜工（両側分） 掘削深2.0m以下	m	2.3			第 28号表
---- 軽量金属支保設置撤去工 水圧式パイプサポート 1段 掘削深2.0m以下	m	2.3			第 29号表
---- 軽量金属製支保設置撤去工 1段 2.0m以下 水圧式パイプサポート	m	2.3			第 30号表
---- アルミ矢板 賃料 H=2.0m	式	1			M0023 第 31号表
---- 支保工賃料	式	1			M0025 第 32号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 仮舗装（車道・路肩部）W=1.4m未満	m ²	55			SP 3号表
--- 舗装工	式	1			
---- 舗装版切断	m	100			SP 1号表
---- アスファルトカッター汚泥運搬・処理（補助） マーセリサイクル株式会社 麻機工場	式	1			M0026 第 33号表
---- 舗装版取壊し積込（バックホウ） 0cmを超え10cm以下 バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ）	m ²	150			第 19号表
---- アスファルト殻運搬処分 共同企業体 静岡つばさアスコン リサイクル工場	m ³	7			M0020 第 20号表
---- バックホウ掘削積込（土砂） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ）	m ³	20			第 22号表
---- ダンプトラック運搬・4t積（管路掘削工事）仮置き場まで バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ） DID区間無し、L=0.3km、土砂	m ³	20			第 23号表
---- 土砂運搬処分 仮置き場から処分場 株式会社 鈴木土建 第三残土処分場	m ³	20			M0021 第 24号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 上層路盤工 (車道部) 仕上り厚さ=15cm 施工幅=1.8m未満 粒度調整碎石 (M-30)	m ²	125			第 35号表
---- 不陸整正工 (M-30) 施工幅=1.8m未満 補足材:有り 平均厚さ30mm	m ²	20			第 36号表
---- 表層 (車道・路肩部)	m ²	118			SP 4号表
---- 表層 (車道・路肩部)	m ²	27			SP 5号表
-- 区画線工	式	1			
--- 区画線工	式	1			
---- 区画線設置 [溶融式手動] 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白	m	77			第 37号表
---- 区画線設置 [溶融式手動] ゼブラ 45cm 塗布厚1.5mm 白	m	5			第 38号表
---- 区画線設置 [溶融式手動] 実線 15cm 塗布厚1.5mm 黄 鉛・クロムフリー	m	3			第 39号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-- 安全工	式	1			
--- 交通誘導警備員	式	1			
---- 交通誘導警備員	式	1			第 40号表
- 市単	式	1			
-- 管材	式	1			
--- HPEφ150・HPEφ75・VUφ100	式	1			
---- 配水P用 EFソケットJWWA K145 φ150	個	1			
---- 配水P用 メカキャップ インナーコア含 φ150	個	2			
---- 配水P用 メカキャップ インナーコア含 φ 75	個	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 硬質ポリ塩化ビニル管 一般管VP 径100 長4.0m	本	1			
--- 仕切弁φ100	式	1			
---- 配水P用 PEソフトシール仕切弁 鋳鉄製(両挿) φ150	基	1			
---- 仕切弁筐(テーパー蓋・受枠三点固定式) CVONS-20G-25LNU 鋳物中蓋タイプ・小型床版、塩ビ台座、VP管含む	基	1			
--- ドレン管	式	1			
---- 配水P用 EF片受ベンド(片受片挿) φ75×90°	個	1			
---- 配水P用 EF片受レデューサ(片受片挿) φ75×φ50	個	1			
---- 配水P用 EF片受ベンド(片受片挿) φ50×90°	個	1			
---- 配水P用 メカPVジョイント インナーコア含 φ75	個	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- HIバルブソケット (インサート付) φ 50	個	2			
---- 配水P用 EFフランジ短管 (PE受口) KVパッキン・SUS BN 含 φ 50	個	1			
---- フランジサポート φ 50	個	1			
---- スリースバルブ(125E) 2インチ	個	1			
---- 仕切弁粉体FCD+F接合材2組 φ 50SS7.5kgf/cm ² JWWA B-120	基	1			
---- 仕切弁筐 (テーパー蓋・受枠三点固定式) CVONS-20G-25LNU 鋳物中蓋タイプ・小型床版、塩ビ台座、VP管含む	基	2			
---- HIフランジ φ 50	個	1			見積
---- 水道用HIビニール管 φ 50×5.0m	本	1			
---- HIエルボ90° φ 50	個	2			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
- - 配管工					
	式	1			
--- HPEφ150・HPEφ100					
	式	1			
---- ポリエチレン管（融着接合）継手工（1箇所） φ150mm					M0002
	箇所	1			水道事業実務必携 P84 第 2号表
---- PE管 メカニカル継手工 φ150mm					M0005
	口	2			水道事業実務必携 P52 第 41号表
---- PE管 メカニカル継手工 φ75mm以下					M0062
	口	1			水道事業実務必携 P52 第 42号表
---- 硬質塩化ビニル管切断工 φ100mm					M0061
	口	1			水道事業実務必携 P95 第 43号表
--- 仕切弁設置工 φ100mm					
	式	1			
---- 仕切弁設置工 φ150mm 機械 鋳鉄製仕切弁 縦型					M0006
	基	1			水道事業実務必携 P96 第 44号表
---- 仕切弁筐設置工					M0010
	箇所	1			第 10号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-- ドレン工					
	式	1			
--- ドレン管布設工					
	式	1			
---- ポリエチレン管（融着接合）布設工 φ75mm 人力					M0039
	m	0.7			水道事業実務必携 P84 第 4号表
---- ポリエチレン管（融着接合）布設工 φ50mm 人力					M0040
	m	1			水道事業実務必携 P84 第 45号表
---- ポリエチレン管（融着接合）継手工（1口） φ75mm					M0043
	口	2			水道事業実務必携 P84 第 6号表
---- ポリエチレン管（融着接合）継手工（1口） φ50mm					M0044
	口	1			水道事業実務必携 P84 第 46号表
---- フランジ継手工 φ65mm以下					M0045
	口	2			水道事業実務必携 P54 第 48号表
---- TS継手工 φ50mm					M0047
	口	7			水道事業実務必携 P82 第 49号表
---- PE管 メカニカル継手工 φ75mm以下					M0062
	口	2			水道事業実務必携 P52 第 42号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 小口径管ねじ込み接合 φ50mm	口	2			M0063 水道事業実務必携 P66 第 50号表
---- 仕切弁設置工 φ100mm以下 機械 鑄鉄製仕切弁 縦型	基	2			M0037 水道事業実務必携 P96 第 9号表
---- 仕切弁筐設置工	箇所	2			M0010 第 10号表
---- 硬質塩化ビニル管(VP)据付工 φ50mm	m	1			M0046 水道事業実務必携 P82 第 51号表
---- 硬質塩化ビニル管切断工 φ50mm	口	5			M0048 第 52号表
---- ナイロンスリーブ被覆工φ75(材・工) 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	0.7			M0049 第 53号表
---- ナイロンスリーブ被覆工φ50(材・工) 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	1			M0054 水道事業実務必携 P85 第 54号表
---- ロケーティングワイヤー設置工(材・工)	m	1.7			M0018 水道事業実務必携 P85 第 16号表
---- 埋設標識シート設置工(材・工)	m	2.7			M0019 水道事業実務必携 P64 第 17号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	孔	2			SP 6号表
-- 土工	式	1			
--- 管路土工	式	1			
---- 舗装版切断	m	3			SP 1号表
---- 舗装版取壊し積込 (バックホウ) 0cmを超え10cm以下 バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	m ²	1			第 19号表
---- バックホウ掘削積込 (土砂) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	m ³	1			第 22号表
---- ダンプトラック運搬・4t積 (管路掘削工事) 仮置き場まで バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³) D1D区間無し, L=0.3km, 土砂	m ³	1			第 23号表
---- 土砂運搬処分 仮置き場から処分場 株式会社 鈴木土建 第三残土処分場	m ³	1			M0021 第 24号表
---- 砂基礎工 (機械施工)	m ³	0.5			M0022 第 26号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管路埋戻工（機械埋戻・バックホウ） バックホウ 山積0.28m3（平積0.20m3） 路体材 再生盛土材	m3	0.9			第 27号表
---- 仮舗装（車道・路肩部）W=1.4m未満	m2	1			SP 3号表
--- 舗装工	式	1			
---- バックホウ掘削積込（土砂） バックホウ 山積0.28m3（平積0.20m3）	m3	0.2			第 22号表
---- ダンプトラック運搬・4t積（管路掘削工事） バックホウ 山積0.28m3（平積0.20m3） D1D区間無し，L=0.3km，土砂	m3	0.2			第 23号表
---- 土砂運搬処分 仮置き場から処分場 株式会社 鈴木土建 第三残土処分場	m3	0.2			M0021 第 24号表
---- 上層路盤工 仕上り厚さ=15cm 施工幅=1.8m未満 粒度調整碎石（M-30）	m2	1			第 35号表
-- 区画線工	式	1			
--- 区画線工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 区画線設置〔溶融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白	m	1			第 37号表
-- 安全工	式	1			
--- 交通誘導警備員	式	1			
---- 交通誘導警備員	式	1			第 55号表
直接工事費計					
工種区分 No. 63 開削工事及び小口径推進工事等					
共通仮設費 (一般交通影響あり(2))	式	1			
運搬費	式	1			M0027
技術管理費	式	1			第 56号表
	式	1			第 57号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費計					
純工事費計					
現場管理費 (一般交通影響あり(2))	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

M O O O 1		ポリエチレン管（融着接合）布設工 φ150mm 人力		第 1号表		
金	円	10 m 当り		水道事業実務必携 P84		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式				
計						
単価		m				

MOO O 2		ポリエチレン管（融着接合）継手工（1箇所） φ150mm				第 2号表
金	円	1 箇所 当り	水道事業実務必携 P84			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

M0003		ポリエチレン管（融着接合）継手工（1口） φ150mm			第 3号表	
金	円	1 口 当り			水道事業実務必携 P84	
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ポリエチレン管（融着接合）継手工（1箇所） φ150mm		箇所	0.7			M0002
計						水道事業実務必携 P84 第 2号表

M O O 3 9		ポリエチレン管（融着接合）布設工 φ75mm 人力				第 4号表	
金	円	10 m 当り		水道事業実務必携 P84			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
特殊作業員		人					
普通作業員		人					
諸雑費		式					
計							
単価		m					

M O O 3 3		ポリエチレン管（融着接合）継手工（1箇所） φ100mm				第 5号表	
金 円		1 箇所 当り		水道事業実務必携 P84			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
特殊作業員						1	
		人					
普通作業員						1	
		人					
諸雑費							
		%					
計							

M O O 4 3		ポリエチレン管（融着接合）継手工（1口） φ75mm			第 6号表	
金 円		1 口 当り			水道事業実務必携 P84	
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ポリエチレン管（融着接合）継手工（1箇所） φ75mm		箇所	0.7			M O O 4 1 水道事業実務必携 P84 第 7号表
計						

MOO41		ポリエチレン管（融着接合）継手工（1箇所） φ75mm				第 7号表
金	円	1 箇所 当り	水道事業実務必携 P84			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

MOO60 ポリエチレン管切断工 $\phi 75\text{mm}$ 第 8号表					
金	円	1 口 当り	水道事業実務必携 P95		
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

MOO37 仕切弁設置工 φ100mm以下 機械 鋳鉄製仕切弁 縦型 第 9号表					
金 円 1 基 当り 水道事業実務必携 P96					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
トラック運転 4-4.5t積 2.9t吊 [クレーン装置付]	時間				
諸雑費	式				
計					

MOO10 仕切弁筐設置工 第 10号表					
金 円 1 箇所 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
仕切弁鉄蓋設置工 円形250、重量30kg未満	個	1			M0007 水道事業実務必携 P100 第 11号表
仕切弁筐ボックス設置工 円形250、重量30kg未満	個	1			M0008 水道事業実務必携 P101 第 12号表
仕切弁筐底板設置工 円形250、重量30kg未満	個	1			M0009 水道事業実務必携 P101 第 13号表
計					

MOOO7		仕切弁鉄蓋設置工 円形250、重量30kg未満		第 11号表		
金	円	1 個 当り	水道事業実務必携 P100			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
諸雑費		式				
計						

MO008

仕切弁筐ボックス設置工
円形250、重量30kg未満

第 12号表

金 円 1 個 当り

水道事業実務必携 P101

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
諸雑費					
計	式				

MO009

仕切弁筐底板設置工
円形250、重量30kg未満

第 13号表

金 円 1 個 当り

水道事業実務必携 P101

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
諸雑費					
計	式				

MOO17		ナイロンスリーブ被覆工φ150 (材・工)				第 14号表
		油類及び有機溶剤浸透防止用				
金	円	100 m 当り		水道事業実務必携 P85		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
配水P用 ナイロンスリーブ φ150		枚	22			
配水P用 アルミテープ 50m/巻		巻	1.67			
配水P用 防食テープ 10m/巻		巻	7.65			
諸雑費		式				
計						
単価		m				

1, #等: 諸經費等対象額

MOO18		ロケーティングワイヤー設置工(材・工)				第 16号表
金	円	100 m 当り	水道事業実務必携 P85			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
ロケーティングワイヤー 100m		m	110			
諸雑費		式				
計						
単価		m				

MOO19 埋設標識シート設置工(材・工) 第 17号表					
金 円 100 m 当り 水道事業実務必携 P64					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
埋設標識シート (ダブル) 幅 15cm 50m/巻	m	100			
埋設標識シート工	m	100			第 18号表
計					
単価	m				

埋設標識シート工

第 18号表

金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
単価	m				

舗装版取壊し積込（バックホウ） 0cmを超え10cm以下 バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ）					
第 19号表					
金 円 100 m ² 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ²				

M O O 2 O					
アスファルト殻運搬処分 共同企業体 静岡つばさアスコン リサイクル工場					
第 20号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬・4 t 積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m3 (平積0.20m3) D I D区間無し, L=6.7km, A s塊	m3	1			第 21号表
アスファルト殻処分費 共同企業体 静岡つばさアスコン リサイクル工場	m3	1			
計					

ダンプトラック運搬・4 t 積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³) DID区間無し, L=6.7km, As塊 金 円 10 m ³ 当り						第 21号表
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ダンプトラック運搬 4 t 積級 タイヤ損耗費:良好	日					
計						
単価	m ³					

バックホウ掘削積込（土砂） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ）					
第 22号表					
金 円 100 m ³ 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ³				

ダンプトラック運搬・4 t 積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³) DID区間無し, L=0.3km, 土砂					
第 23号表					
金	円	10 m ³ 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
ダンプトラック運搬 4 t 積級 タイヤ損耗費: 良好				日	
計					
単価				m ³	

MOO21 土砂運搬処分 仮置き場から処分場 株式会社 鈴木土建 第三残土処分場					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
積込 (ルーズ)	m3	1			SP 2号表
ダンプトラック運搬・10t積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.45m3 (平積0.35m3) DID区間有り, L=41.5km, 土砂	m3	1			第 25号表
土砂処分費(普通土) 株式会社 鈴木土建 第三残土処分場	m3	1.2			
計					

ダンプトラック運搬・10t積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.45m3 (平積0.35m3) DID区間有り, L=41.5km, 土砂					
第 25号表					
金	円	100 m3 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
ダンプトラック運搬 10t積級 タイヤ損耗費:良好				日	
計					
単価				m3	

MOO22

砂基礎工(機械施工)

第 26号表

金	円	100 m3 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
砂基礎工 機械施工 10m3以上		式	100			
再生砂 (埋戻し用)		m3	126			
計						
単価		m3				

管路埋戻工（機械埋戻・バックホウ） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ） 路体材 再生盛土材					
第 27号表					
金 円 100 m ³ 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
タンバ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				
路体材 再生盛土材	m ³	126			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ³				

アルミ矢板建込・引抜工（両側分） 堀削深2.0m以下					
第 28号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
バックホウ運転費 油圧式クローラ0.2m3 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日				
諸 雑 費	式	1			
小計					
計					

第 28号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
単価	m				

軽量金属支保設置撤去工 水圧式パイプサポート 1段 掘削深2.0m以下					
第 29号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

第 30号表						
軽量金属製支保設置撤去工 1段 2.0m以下 水圧式パイプサポート						
金 円 100 m 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

MOO23

アルミ矢板 賃料
H=2.0m

第 31号表

金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ矢板賃料 H=2.0m 幅=333mm		日・枚	28			
アルミ矢板基本料 H=2.0m 幅=333mm		枚	14			
計						

MOO25 支保工賃料					
第 32号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ製腹起し材質料 80×115×4000	日・本	4			
アルミ製腹起し材基本料 80×115×4000	本	2			
水圧サポート賃料 450-650	日・本	4			
水圧サポート基本料 450-650	本	2			
水圧手動ポンプ賃料	日・台	2			
水圧手動ポンプ基本料	台	1			
計					

MOO26					
アスファルトカッター汚泥運搬・処理(補助) マーセリサイクル株式会社 麻機工場					
第 33号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬(DID区間あり) 運搬距離:25.3km以下	台	1			第 34号表
アスファルトカッター汚泥処分費 マーセリサイクル株式会社 麻機工場	m3	0.3			
計					

トラック運搬 (D I D区間あり) 運搬距離: 2 5. 3 k m以下						第 3 4号表
金 円		1 台 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬 2 t 積		時間				
諸 雑 費		式	1			
計						

上層路盤工 仕上り厚さ=15cm 施工幅=1.8m未満 粒度調整砕石 (M-30) 第 35号表 金 円 100 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
粒調砕石 M-30 30-0mm	m3	19.05			
タンバ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m2				

不陸整正工 施工幅=1.8m未満 補足材:有り 平均厚さ30mm 第 36号表					
金	円	100 m2 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
粒調碎石 M-30 30-0mm	m3	3.81			
タンバ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m2				

区画線設置〔熔融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白					
第 37号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 実線 15cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0	k g	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	k g	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	k g	25			2
軽油 パトロール給油	l	47			2
諸雑費	%				

第 37号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

区画線設置〔熔融式手動〕 ゼブラ 45cm 塗布厚1.5mm 白					
第 38号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 ゼブラ 45cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0	kg	1,700			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	kg	75			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	kg	75			2
軽油 パトロール給油	l	106			2
諸雑費	%				

第 38号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

区画線設置〔熔融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 黄 鉛・クロムフリー					
第 39号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 実線 15cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 鉛・クロムフリー ガラスビーズ含有量15-18% 黄 比重2.0	kg	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	kg	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	kg	25			2
軽油 パトロール給油	l	47			2
諸雑費	%				

第 39号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

交通誘導警備員

第 40号表

金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B		人	18			9日、2人
計						

MO005

PE管　メカニカル継手工
φ150mm

第　41号表

金　　　　　円　　　　　1　口当り

水道事業実務必携　P52

積　算　項　目	単位	数量	単　価	金　額	摘　要
特殊作業員					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

M O O 6 2		PE管　メカニカル継手工 φ75mm以下		第　4 2号表		
金	円	1　口 当り		水道事業実務必携　P52		
積　算　項　目		単位	数量	単　価	金　額	摘　要
特殊作業員						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

MOO61

硬質塩化ビニル管切断工
φ100mm

第 43号表

金 円 1 口 当り

水道事業実務必携 P95

積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

MOOO6		仕切弁設置工 φ150mm 機械 鋳鉄製仕切弁 縦型		第 44号表		
金	円	1 基 当り	水道事業実務必携 P96			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック運転 4 - 4.5 t 積 2.9 t 吊 [クレーン装置付]		時間				
諸雑費		式				
計						

MOO40					
ポリエチレン管（融着接合）布設工 φ50mm 人力					
第 45号表					
水道事業実務必携 P84					
金 円 10 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
諸雑費	式				
計					
単価	m				

M O O 4 4		ポリエチレン管（融着接合）継手工（1口） φ50mm			第 4 6号表	
金	円	1 口 当り		水道事業実務必携 P84		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ポリエチレン管（融着接合）継手工（1箇所） φ50mm		箇所	0. 7			M O O 4 2
計						水道事業実務必携 P84 第 4 7号表
</						

M O O 4 2		ポリエチレン管（融着接合）継手工（1箇所） φ50mm				第 4 7号表	
金 円		1 箇所 当り		水道事業実務必携 P84			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
特殊作業員						1	
		人					
普通作業員						1	
		人					
諸雑費							
		%					
計							

MOO45

フランジ継手工
φ65mm以下

第 48号表

金 円 1 口 当り

水道事業実務必携 P54

積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

MOO47					
TS継手工 φ50mm					
第 49号表					
水道事業実務必携 P82					
金 円 2 口 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					
単価					
	口				

1, #等:諸経費等対象額

M O O 6 3		小口径管ねじ込み接合 φ50mm		第 5 0号表	
金	円	2 口 当り	水道事業実務必携 P66		
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					
単価					
	口				

M O O 4 6		硬質塩化ビニル管(VP)据付工 φ 50mm		第 5 1号表		
金	円	10 m 当り	水道事業実務必携 P82			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式				
計						
単価		m				

M O O 4 8		硬質塩化ビニル管切断工 φ 50mm		第 5 2 号表		
金	円	1 口 当 り				
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

MOO49		ナイロンスリーブ被覆工φ75（材・工） 油類及び有機溶剤浸透防止用		第 53号表		
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
配水P用 ナロンスリーブ φ 75		枚	22			
配水P用 アルミテープ 50m/巻		巻	1.02			
配水P用 防食テープ 10m/巻		巻	4.83			
諸雑費		式				
計						
単価		m				

M O O 5 4		ナイロンスリーブ被覆工φ50（材・工） 油類及び有機溶剤浸透防止用			第 54号表	
金	円	100 m 当り		水道事業実務必携 P85		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
配水P用 ナイロンスリーブ φ 50		枚	22			
配水P用 アルミテープ 50m/巻		巻	1.02			
配水P用 防食テープ 10m/巻		巻	3.88			
諸雑費		式				
計						
単価		m				

交通誘導警備員

第 55号表

交通誘導警備員						第 55号表
金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B						1日、1人
計		人	1			

MOO27 運搬費					
第 56号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
仮設材等の運搬費（往路） 12m以内 L=2km, G=0.16t	式	1			
仮設材等の運搬費（復路） 12m以内 L=2km, G=0.16t	式	1			
仮設材等の積み込み・取卸し費 現場搬入質量=0.16t, 現場搬出質量=0.16t	式	1			
計					

MOO28					
技術管理費					
第 57号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
通水試験工 φ150mm以下 既設管と連絡なし	m	93.6			第 58号表
六価クロム溶出試験 環境庁告示46号溶出試験	件	1			
計					

通水試験工 φ150mm以下 既設管と連絡なし					
第 58号表					
金	円	1000 m 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
配管工					1
普通作業員					1
運転手 (一般)					1
器具損料及び諸雑費					
計					
単価					

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝15cm以下	SP 1号表
積込（ルーズ）	土質＝土砂，作業内容＝土量50，000m ³ 未満 ＊土砂の種類＝土砂（砂・砂質土）	SP 2号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下），材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝無し &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（13） A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝40mm	SP 3号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝1.4m以上3.0m以下，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（13） A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝50mm，&瀝青材料規格＝プライムコート PK-3	SP 4号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝3.0m超，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（13） A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝50mm，&瀝青材料規格＝プライムコート PK-3	SP 5号表
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	削孔深さ＝30mm以上200mm未満	SP 6号表

名 称	規格・寸法	計 算 表	数 量	単 位	(m)
補助管材料					
【HPE φ 150】					
配水ポリエチレン管 EF片受直管	φ 150 × 5m	12	12	本	5.000
配水ポリエチレン管 直管	φ 150 × 5m	3	3	本	5.000
EF片受チーズ	φ 150 × φ 75	2	2	個	0.650
EF両受ベンド	φ 150 × 45°	2	2	個	0.450
EF片受ベンド	φ 150 × 45°	2	2	個	0.610
EF片受Sベンド	φ 150 × 450H	2	2	個	1.240
【HPE φ 75】					
配水ポリエチレン管 EF片受直管	φ 75 × 5m	1	1	本	5.000
配水ポリエチレン管 直管	φ 75 × 5m	1	1	本	5.000
EFチーズ	φ 75 × φ 50	1	1	個	0.100
EF両受ベンド	φ 75 × 45°	3	3	個	0.380
EF両受ベンド	φ 75 × 22 1/2°	1	1	個	0.280
EF片受ベンド	φ 75 × 45°	1	1	個	0.480
EF片受Sベンド	φ 75 × 450H	2	2	個	1.110
【仕切弁】					
PE挿し口ソフトシール仕切弁	φ 75	1	1	基	0.780
仕切弁筐	テーパー蓋、受枠三点固定式	1	1	基	

名 称	規格・寸法	計 算 表				計	数 量	単 位	
補助管布設									
【HPE φ 150管布設工】									
PE管布設工	φ 150(人力)	80.900				80.900	80.9	m	
PE管継手工(融着接合)	φ 150	両受	2			2	2	箇所	
PE管継手工(融着接合)	φ 150	片受	12	2	2	2	18	口	
【HPE φ 75管布設工】									
PE管布設工	φ 75(人力)	10.950				10.950	11.0	m	
PE管継手工(融着接合)	φ 75	両受	1	3	1	5	5	箇所	
PE管継手工(融着接合)	φ 75	片受	1	1	2	4	4	口	
PE管切断工	φ 75	5				5	5	口	
【仕切弁設置工】									
仕切弁設置工	φ 75	1				1	1	基	
仕切弁筐設置工		1				1	1	箇所	
【管被覆工】									
ナイロンスリーブ被覆工	φ 150材工	80.900				80.900	80.9	m	
ナイロンスリーブ被覆工	φ 75材工	10.950				10.950	11.0	m	
ロケーティングワイヤー	材工	80.900	+	10.950		91.850	91.9	m	
埋設標識シート	材工	91.790				91.790	91.8	m	
【その他】					仕切弁				
通水試験工		80.900	+	10.950	+	0.780	92.630	92.6	m
交通整理人		管路土工	8	×	2	=	16		
		舗装	1	×	2 人	=	2	18	人
区画線工	実線15cm・白	80.6	-	4		76.6	77	m	
	ゼブラ45cm・白	4	+	1.2		5	5	m	
	実線15cm・黄	3				3	3	m	

補助

名称	計算式				摘要	設計数量
舗装版切断	t=5cm	(91.790	+ 0.600) × 2	= 184.78 m		
				計 184.78 m	184.78	180 m
舗装切断 産業廃棄物	t=5cm	0.023	× 0.05 × 184.78	= 0.21 m3		
				計 0.21 m3	0.21	0.2 m3
舗装版直接掘削 0～10cm以下	t=5cm	54.714		= 54.71 m2		
				計 54.71 m2	54.71	55 m2
AS殻運搬	t=5cm	54.710	× 0.05	= 2.74 m3		
				計 2.74 m3	2.74	3 m3
バックホウ床堀		59.268		= 59.27 m3		
				計 59.27 m3	59.27	60 m3
仮置き場へ運搬		59.268		= 59.27 m3		
				計 59.27 m3	59.27	60 m3
発生土運搬・処理		59.268		= 59.27 m3		
				計 59.27 m3	59.27	60 m3
管路埋戻し (砂)		20.838		= 20.84 m3		
				計 20.84 m3	20.84	20 m3

管路埋戻し (碎石)	36.858					=	36.86 m3		
						計	36.86 m3	36.86	40 m3
仮舗装 (AS13、t=40mm)	1.4m未満 54.714					=	54.71 m2		
						計	54.71 m2	54.71	55 m2
舗装版切断 本舗装	県道車道 91.790 + 8.955 + 0.80 + 0.60					=	102.15 m		
						計	102.15 m	102.15	100 m
舗装切断 産業廃棄物 本舗装	t=5cm 0.023 × 0.05 × 102.15					=	0.117 m3		
						計	0.117 m3	0.117	0.1 m3
舗装版直接掘削 0～10cm以下 本舗装	t=5cm N4 145.042 t=4cm 仮舗装取り壊し 54.354					(仮舗装) -	54.354	=	90.69 m2
								=	54.35 m2
						計	145.04 m2	145.04	150 m2
AS殻運搬	t=5cm N4 90.69 × 0.05 t=4cm 仮舗装取り壊し 54.35 × 0.04					=	4.53 m3		
						=	2.17 m3		
						計	6.70 m3	6.70	7 m3
バックホウ床堀	19.354					=	19.35 m3		
						計	19.35 m3	19.35	20 m3
仮置き場へ運搬	19.354					=	19.35 m3		
						計	19.35 m3	19.35	20 m3
発生土運搬	19.354					=	19.35 m3		
						計	19.35 m3	19.35	20 m3

上層路盤工 (M-30、t=15cm) 1.8m未満	125.379	=	125.38 m3		
		計	125.38 m2	125.38	125 m2
不陸整正工 (M-30、t=30cm)	145.045 - 125.379	=	19.67 m2		
		計	19.67 m2	19.67	20 m2
表層 N4 (再生密粒度AS13,t=5cm) 1.4m以上3.0m以下	県道 116.215 + 市道 1.96	=	118.18 m2		
		計	118.18 m2	118.18	118 m2
表層 N4 (再生密粒度AS13,t=5cm) 3.0m以上	横断部 26.865	=	26.87 m2		
		計	26.87 m2	26.87	27 m2

補助土工 測点		適用1	適用2	距離 (m)	土被り (m)	管外径 (m)	既設舗装厚 (m)	上砂厚 (m)	下砂厚 (m)	仮舗装厚 (m)	W 掘削幅 (m)	H2 掘削深 (m)	H2 平均掘削 (m)	H1 掘削工 (m)	H1 平均掘削工 (m)	h1 平均砂埋戻厚 (m)	h2 平均砕石埋戻厚 (m)	既設舗装 取壊し (m2)	仮舗装工 (m2)	管路 掘削土量 (m3)	管路 砂埋戻 (m3)	管路 砕石埋戻 (m3)
No 40	2.500	県道車道	N4		0.800	0.180	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.080		1.030								
No 41		県道車道	N4	37.500	0.800	0.180	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.080	1.080	1.030	1.030	0.430	0.610	22.500	22.500	23.175	8.721	13.725
No 41		県道車道	N4		0.800	0.180	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.080		1.030								
No 41 +	29.230	県道車道	N4	29.230	0.800	0.180	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.080	1.080	1.030	1.030	0.430	0.610	17.538	17.538	18.064	6.798	10.698
No 41 +	29.230	県道車道	N4		0.800	0.180	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.080		1.030								
No 41 +	31.370	県道車道	N4	2.140	0.800	0.180	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.080	1.080	1.030	1.030	0.430	0.610	1.284	1.284	1.323	0.498	0.783
No 41 +	31.370	県道車道	N4		1.250	0.180	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.530		1.480								
No 42		県道車道	N4	8.630	1.250	0.180	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.530	1.530	1.480	1.480	0.430	1.060	5.178	5.178	7.663	2.007	5.489
No 42		県道車道	N4		0.800	0.180	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.080		1.030								
No 42 +	3.100	県道車道	N4	3.100	0.800	0.180	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.080	1.080	1.030	1.030	0.430	0.610	1.860	1.860	1.916	0.721	1.135
No ###		県道横断	N4		0.800	0.090	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	0.990		0.940								
No 100 +	4.430	県道横断	N4	4.430	0.800	0.090	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	0.990	0.990	0.940	0.940	0.340	0.610	2.658	2.658	2.499	0.876	1.621
No 100 +	4.430	県道横断	N4		1.500	0.090	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.690		1.640								
No 100 +	6.690	県道横断	N4	2.260	1.500	0.090	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.690	1.690	1.640	1.640	0.340	1.310	1.356	1.356	2.224	0.447	1.776
No 100 +	6.690	県道横断	N4		0.800	0.090	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	0.990		0.940								
No 100 +	8.200	県道横断	N4	1.510	0.800	0.090	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	0.990	0.990	0.940	0.940	0.340	0.610	0.906	0.906	0.852	0.298	0.553
No 100 +	8.200	県道横断	N4		0.800	0.090	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	0.990		0.940								
No 100 +	8.955	県道横断	N4	0.755	1.250	0.090	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.440	1.215	1.390	1.165	0.340	0.835	0.453	0.453	0.528	0.149	0.378
No 100 +	8.955	県道横断	水路		1.250	0.090																
No 100 +	9.555	県道横断	水路	0.600	1.250	0.090																
No 100 +	9.555	市道車道	N4		1.250	0.090	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	1.440		1.390								
No 100 +	10.310	市道車道	N4	0.755	0.800	0.090	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	0.990	1.215	0.940	1.165	0.340	0.835	0.453	0.453	0.528	0.149	0.378
No 100 +	10.310	市道車道	N4		0.800	0.090	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	0.990		0.940								
No 100 +	11.190	市道車道	N4	0.880	0.800	0.090	0.050	0.150	0.100	0.040	0.600	0.990	0.990	0.940	0.940	0.340	0.610	0.528	0.528	0.496	0.174	0.322
県道車道N4昼間延長		県道車道	N4	80.600																		
県道横断N4昼間延長		県道横断	N4	8.955																		
市道車道N4昼間延長		市道車道	N4	1.635																		
県道横断水路昼間延長		県道横断	水路	0.600																		
既設舗装厚:5cm				91.190																		
合計				91.790														54.714	54.714	59.268	20.838	36.858

アルミ矢板損料・運搬計算

工事名 :令和8年度 岡部町新舟地内配水本管布設替工事

矢板・支保工
総重量

全体
0.156 t

区間	矢板長2.0m区間(両側)									
施工延長	L=	2.26	m	日進量	L=	15	m/日			
矢板長さ	L=	2	m	矢板幅	W=	0.33	m/枚	矢板単位重量 W=	0.0056	kg/m
支保工	N=	1	段	両側・片側	2	(両側:2、片側:1)				
換算施工日数	延長 日進量 D= 2.26 ÷ 15 = 1 日				使用日数	2.3 ÷ 2.3 × 1.7 = 2 日				
換算日進量	延長 施工日数 L= 2.26 ÷ 1 = 2.3 m									
矢板運搬重量 W= 2.3 ÷ 0.33 × 2.0 × 0.006 × 2 = 0.156 t										
矢板枚数 N= 2.3 ÷ 0.33 × 2 = 14 枚										
腹起材(H-115×80×4000)										
日進量 腹起長さ(m/本) 両側・片側 段数 N= 2.3 ÷ 4 × 2 × 1 = 2 本										
日数 本数 賃料(日×本数) t= 2 × 2 = 4 日・本										
切梁材(水圧サポート)										
腹起本数 単位本数 両側矢板 N= 2 × 2 ÷ 2 = 2 本										
日数 本数 賃料(日×本数) t= 2 × 2 = 4 日・本										

※不稼働係数:1.7

補助舗装 測点	適用1	適用2	適用3	距離 (m)	W 掘削幅 (m)	W 平均掘削幅 (m)	仮舗装 取壊し (m2)	路盤厚 (m)	平均路盤厚 (m)	路盤幅 (m)	平均路盤幅 (m)	路盤掘削 (m3)	1.8m未満 上層路盤工 (m2)	本舗装幅 (m)	本舗装 (m2)
No 40	県道車道	N4	昼間		0.600			0.150		1.400				1.400	
No 40	県道車道	N4	昼間		0.600	0.600		0.150	0.150	1.400	1.400			1.400	
No 40 2.500	県道車道	N4	昼間		0.600			0.150		1.400				1.400	
No 41	県道車道	N4	昼間	37.500	0.600	0.600	22.500	0.150	0.150	1.400	1.400	8.100	52.500	1.400	52.500
No 41	県道車道	N4	昼間		0.600			0.150		1.400				1.400	
No 41 + 29.230	県道車道	N4	昼間	29.230	0.600	0.600	17.538	0.150	0.150	1.400	1.400	6.314	40.922	1.400	40.922
No 41 + 29.230	県道車道	N4	昼間		0.600			0.150		1.400				1.838	
No 41 + 31.370	県道車道	N4	昼間	2.140	0.600	0.600	1.284	0.150	0.150	1.400	1.400	0.462	2.996	1.838	3.933
No 41 + 31.370	県道車道	N4	昼間		0.600			0.150		1.400				1.838	
No 42	県道車道	N4	昼間	8.630	0.600	0.600	5.178	0.150	0.150	1.400	1.400	1.864	12.082	1.838	15.862
No 42	県道車道	N4	昼間		0.600			0.150		1.400				1.838	
No 42 + 3.100	県道車道	N4	昼間	3.100	0.600	0.600	1.860	0.150	0.150	1.400	1.400	0.670	4.340	1.838	5.698
重複部控除						0.6×0.6	-0.360				1.4×1.4 厚0.15	-0.294	-1.960	1.4×1.9	-2.700
No 100	県道横断	N4	昼間		0.600			0.150		1.400				3.000	
No 100 + 4.430	県道横断	N4	昼間	4.430	0.600	0.600	2.658	0.150	0.150	1.400	1.400	0.957	6.202	3.000	13.290
No 100 + 4.430	県道横断	N4	昼間		0.600			0.150		1.400				3.000	
No 100 + 6.690	県道横断	N4	昼間	2.260	0.600	0.600	1.356	0.150	0.150	1.400	1.400	0.488	3.164	3.000	6.780
No 100 + 6.690	県道横断	N4	昼間		0.600			0.150		1.400				3.000	
No 100 + 8.200	県道横断	N4	昼間	1.510	0.600	0.600	0.906	0.150	0.150	1.400	1.400	0.326	2.114	3.000	4.530
No 100 + 8.200	県道横断	N4	昼間		0.600			0.150		1.400				3.000	
No 100 + 8.955	県道横断	N4	昼間	0.755	0.600	0.600	0.453	0.150	0.150	1.400	1.400	0.163	1.057	3.000	2.265
No 100 + 8.955	県道横断	水路	昼間												
No 100 + 9.555	県道横断	水路	昼間	0.600											
No 100 + 9.555	市道車道	N4	昼間		0.600			0.150		1.200				1.200	
No 100 + 10.310	市道車道	N4	昼間	0.755	0.600	0.600	0.453	0.150	0.150	1.200	1.200	0.140	0.906	1.200	0.906
No 100 + 10.310	市道車道	N4	昼間		0.600			0.150		1.200				1.200	
No 100 + 11.190	市道車道	N4	昼間	0.880	0.600	0.600	0.528	0.150	0.150	1.200	1.200	0.164	1.056	1.200	1.056
合計			全体	91.790			54.354					19.354	125.379		145.042

名 称	規格・寸法	計 算 表	数 量	単 位	(m)	備考
市単独管材料						
【HPE φ 150】						
EFソケット	φ 150	1	1	個		
メカPPキャップ	φ 150	2	2	個		
【HPE φ 75】						
メカPPキャップ	φ 75	1	1	個		
【VU φ 100】						
硬質塩化ビニール管	φ 100 × 4m	1	1	本	4.000	鞘管用
【仕切弁】						
PE挿し口ソフトシール仕切弁	φ 150	1	1	基	1.020	
仕切弁筐	テーパー蓋、受枠三点固定式	1	1	基		
【ドレンエ】						
EF片受ベンド	φ 75 × 90°	1	1	個	0.500	
EF片受レジューサー	φ 75 × φ 50	1	1	個	0.340	
EF片受ベンド	φ 50 × 90°	1	1	個	0.330	
メカPVジョイント	φ 50	1	1	個	0.254	
HIバルブソケット インサート付	φ 50	2	2	個		
EFフランジ短管	φ 50	1	1	個	0.160	
フランジサポート	φ 50	1	1	個		
スリースバルブ	φ 50	1	1	個	0.074	
両フランジソフトシール仕切弁	φ 50	1	1	基	0.180	
仕切弁筐	テーパー蓋、受枠三点固定式	2	2	基		
HI・TSフランジ	φ 50	1	1	個		
水道用HIビニール管(HIVP)	φ 50 × 5m	1	1	本	5.000	
HIエルボ	φ 50 × 90°	2	2	個		

名 称	規格・寸法	計 算 表		計	数 量	単 位	
市単独管布設							
【HPE φ 150布設工】							
PE管継手工(融着接合)	φ 150	両受	1	1	1	箇所	
メカニカル継手工	φ 150		2	2	2	口	
【HPE φ 75布設工】							
メカニカル継手工	φ 150		1	1	1	口	
【韜管工】							
VP管切断工	φ 100		1	1	1	口	
【仕切弁設置工】							
仕切弁設置工	φ 150		1	1	1	箇所	
仕切弁筐設置工			1	1	1	箇所	
【その他】							
通水試験工			1.02	1.0	1.0	m	
交通整理人		管路土工	1 ×	1 人	1	人	

【ドレン設置工】						
PE管布設工	φ 75	0.7		0.7	0.7	m
PE管布設工	φ 50	1.0		1.0	1.0	m
PE管継手工(融着接合)	φ 75	片受 1 1		2	2	口
PE管継手工(融着接合)	φ 50	片受 1		1	1	口
フランジ継手工	φ 50	1 1		2	2	口
TS継手工	φ 50	1 2 4		7	7	口
メカニカル継手工	φ 50	2		2	2	口
ねじ込み接合	φ 50	2		2	2	口
仕切弁設置工	φ 50	1 1		2	2	箇所
仕切弁筐設置工		2		2	2	箇所
VP管布設工	φ 50	1.0		1	1.0	m
VP管切断工	φ 50	5		5	5	口
ナイロンスリーブ被覆工	φ 75材工	0.7		0.7	0.7	m
ナイロンスリーブ被覆工	φ 50材工	1.0		1.0	1.0	m
ロケーティングワイヤー	材工	0.7 1.0		1.7	1.7	m
埋設標識シート	材工	2.7		2.7	2.7	m
コンクリート削孔	φ 50	2		2	2	孔

市単独

市平強

名称	計算式						摘要	設計数量	
舗装版切断	t=5cm	0.600	+	1.020	×	2	= 計	2.64 m 2.64 m	2.64 3 m
舗装版直接掘削 0～10cm以下	t=5cm	1.392					= 計	1.39 m2 1.39 m2	1.39 1 m2
バックホウ床堀		1.340					= 計	1.34 m3 1.34 m3	1.34 1 m3
仮置き場へ運搬		1.340					= 計	1.34 m3 1.34 m3	1.34 1 m3
発生土運搬・処理		1.340					= 計	1.34 m3 1.34 m3	1.34 1 m3
管路埋戻し (砂)		0.473					= 計	0.47 m3 0.47 m3	0.47 0.5 m3
管路埋戻し (碎石)		0.849					= 計	0.85 m3 0.85 m3	0.85 0.9 m3
仮舗装 (AS13、t=40mm)		1.392					= 計	1.39 m2 1.39 m2	1.39 1 m2

バックホウ床堀	0.156	=	0.16 m3	0.16	0.2 m3
		計	0.16 m3		
仮置き場へ運搬	0.156	=	0.16 m3	0.16	0.2 m3
		計	0.16 m3		
発生土運搬・処理	0.156	=	0.16 m3	0.16	0.2 m3
		計	0.16 m3		
上層路盤工 (M-30、t=15cm) 1.8m未満	1.008	=	1.01 m3	1.01	1 m2
		計	1.01 m2		
区画線 W15 白	1.020	=	1.02 m	1.02	1 m
		計	1.02 m		

市単独土工 測点	適用1	適用2	距離 (m)	土被り (m)	管外径 (m)	上砂厚 (m)	下砂厚 (m)	仮舗装厚 (m)	W 掘削幅 (m)	H2 掘削深 (m)	H1 掘削工 (m)	h1 平均砂埋戻厚 (m)	h2 平均砕石埋戻厚 (m)	仮舗装工 (m2)	管路 掘削土量 (m3)	管路 砂埋戻 (m3)	管路 砕石埋戻 (m3)	路盤幅 (m)	1.8m未満 上層路盤工 (m2)
No 42 + 3.100	県道車道	N4		0.800	0.180	0.150	0.100	0.040	0.600	1.080	1.030							1.400	
No 42 + 4.120	県道車道	N4	1.020	0.800	0.180	0.150	0.100	0.040	0.600	1.080	1.030	0.430	0.610	0.612	0.630	0.237	0.373	1.400	
ドレン工	市道車道	N4	0.750	0.800	0.060	0.150	0.100		0.300	0.960	0.910	0.310	0.610	0.225	0.205	0.068	0.137		
仮ドレン工	県道車道	N4	1.388	0.800	0.060	0.150	0.100		0.400	0.960	0.910	0.310	0.610	0.555	0.505	0.168	0.339		
																		路盤厚(m)	
県道車道N4昼間延長	県道車道	N4	2.408															0.150	
市道車道N4昼間延長	市道車道	N4	0.750															路盤延長	
																		0.720	
既設舗装厚:5cm			1.020															路盤掘削	上層路盤工
																		(m3)	(m2)
合計			3.158											1.392	1.340	0.473	0.849	0.156	1.008

地 下 埋 設 物 調 書

(令和8年度 岡部町新舟地内配水本管布設替工事)

埋 設 物	埋 設 状 況			管 理 者	
	縦 方 向	横 方 向	特 殊 箇 所	市	管理側
水 道 管	石綿管φ75 PEPφ50	PEPφ50			藤枝市 上水道課 増田
ガ ス 管	地下埋設物照会により埋設物が無いことを確認した。				東海ガス 増田
大井川広 域水道企 業 団	事業管内図により埋設物が無いことを確認した。				静岡県大井 川広域水道 企業団
大井川土 地改良区	事業管内図により埋設物が無いことを確認した。				大井川土地 改良区
N T T ケーブル	地下埋設物照会により埋設物が無いことを確認した。				NDS 山本
中部電力 ケーブル	地下埋設物照会により埋設物が無いことを確認した。				中部電力
下水道管	地下埋設物照会により埋設物が無いことを確認した。				藤枝市 下水道課 木村

別紙図面の通り

個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

交通誘導員の配置に関する特記仕様書（標準）

（交通誘導員の設計計上数量）

第1条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

（安全対策）

第2条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

（その他）

第3条 交通誘導員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導員の点呼を取り、交通誘導員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導員を適正に配置するものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律第10条第1項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」(平成28年3月11日藤枝市長決定)第2条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第3条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

遠隔臨場の実施に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等により映像及び音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことをいう。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、所定の日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場で確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

（機材等の手配・仕様）

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

藤枝市週休2日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第1条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休2日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（6日間）、夏季休暇（3日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 現場閉所 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除く。
- (3) 現場閉所率 対象期間における現場閉所日数の割合（現場閉所日数／対象期間日数）で算定する。現場閉所率が28.5%以上の場合を4週8休以上とする。
- (4) 週休2日 対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (5) 完全週休2日（土日） 対象期間のすべての週において、現場閉所を土日に指定し、1週間に2日以上現場閉所を行ったと認められる状態をいう。ただし、受発注者間の事前協議により、予めこれに代わる定休日を設定できるものとする。
- (6) 月単位の週休2日 対象期間の全ての月において、週休2日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (7) 通期の週休2日 対象期間の現場閉所率が28.5%以上の状態をいう。

（費用の計上）

第3条 週休2日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休2日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第4条 週休2日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに現場閉所計画表を監督員に提出し、これに基づき施

工を行う。なお、受注者の責めに帰すことができない理由により実施が困難な場合には、対象期間開始前に受発注者間協議を行うこととする。

- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更の現場閉所計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、現場閉所率について確認を行う。なお、規程の現場閉所を行ったと認められない場合には、静岡県週休2日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上による減額変更契約を行うものとする。

（工期設定の条件）

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
- (3) 地域の事情 () 日
- (4) 自然条件 () 日
- (5) その他 () 日

熱中症対策に資する現場管理費率の補正に関する特記仕様書

(適用)

第1条 本特記仕様書は、受注者が熱中症対策に資する現場管理費率の補正を希望する場合に、受発注者間協議により適用することができる。

(用語の定義)

第2条 この特記仕様書における用語の定義は次のとおりとする。

- (1) 真夏日 日最高気温が30℃以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。
- (2) 工期 工事着手日から工事完了日前の受発注者間で協議した日までの期間をいう。ただし、当該機関に年末年始を含む工事では年末年始休暇分として6日間、7月、8月又は9月を含む工事では夏季休暇分として3日間、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。
- (3) 真夏日率 工事着手日から工事完了日までの期間（以下「工事期間」という）中の真夏日を工期で除した割合をいう。なお、真夏日率の算定は次の算定式によるものとする。

【算定式】真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

※小数点以下第3位を四捨五入し、小数点第2位止めとする。

- (4) 補正值 真夏日率に補正係数を乗じた値をいう。なお、補正值の算定は次の算定式によるものとする。

【算定式】補正值（％）＝真夏日率×補正係数

※補正係数は1.2とする。

※真夏日率及び補正值は、小数点以下第3位を四捨五入して、小数点第2位止めとする。

(気温の計測方法等)

第3条 受注者は工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載するものとする。なお、気温の計測方法は次のとおりとする。

- (1) 計測方法 工事現場から最寄りの気象庁の地域気象観測所の気温、又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。WBGTを用いる場合は、WBGTが25℃以上になる日を真夏日と見なす。なお、施工箇所が点在する工事へ適用する場合は、主工事の施工箇所の最寄りの地域気象観測所の気温を用いる。

ただし、森林工事においては工事現場から最寄りの気象庁の地域気象観測所の気温のみを適用することとする。また、これによりがたい場合は、あらかじめ監督員と協議の上、最寄りの気象庁の地域気象観測所、気象業務法（昭和27年法律第165号）に

基づき気象庁以外の者が行う気温の計測結果又は工事現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法で得られた気温の計測結果を用いることもできる。

なお、計測資料の取得又は計測に要する費用は受注者の負担とするものとする。

- (2) 気温の補正方法 気温の補正は森林工事のみに適用するものとし、(1)で得られた気温の計測結果(工事現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法により得られた気温の計測結果を除く。)は、次の算定式により補正を行うものとする。ただし、気象条件又は現場条件によりがたい場合は、監督員と協議の上、補正方法を決定するものとする。

【算定式】補正後の気温(℃)＝気温(℃)－標高差(m)×0.6/100(m)

※補正後の気温は、小数点第2位四捨五入1位止めとする。

ただし、標高差(m)＝工事現場の標高(m)－計測箇所の標高(m)」

(気温計の設置高さがわかる場合は、計測箇所の標高に加算すること)

※標高差の値は、小数点第1位四捨五入整数止めとする。

(計測結果の報告方法)

第4条 計測結果の報告方法は次のとおりとする。

受注者は監督員と事前に協議した提出期日までに真夏日率及び補正值を算出し、真夏日率等算定表(第1号様式)を発注者に提出するものとする。

真夏日率等算定表

工事名：

受注者：

現場代理人：

熱中症対策に資する現場管理費率の補正に関する特記仕様書に基づき、真夏日率等を下記の通り算出したので、提出します。

項目	細目	数量	単位	備考
工期：	工事着手日			
	計測完了日			
	工事中止期間等		日	年末年始6日、夏季休暇3日 工場製作、全面中止期間等
	工期		日	①
真夏日（暑さ指数）：			日	② 算出根拠から自動出力
真夏日率：				=真夏日②÷工期①
補正值：			%	=真夏日率×1.2

※黄色ハッチ部を記入
※マニュアルを参照すること
※自動で出力される値は参考である。